

I . 浜松地区感染対策サーベイランス報告 — 抗菌薬 2023年 —

浜松医科大学医学部附属病院
感染制御センター/薬剤部
中津川 瑛美

抗菌薬サーベイランス参加施設一覧(23施設)

加算1施設

- ・遠州病院
- ・聖隷浜松病院
- ・聖隷三方原病院
- ・浜松医科大学医学部附属病院
- ・浜松医療センター
- ・浜松赤十字病院
- ・浜松労災病院

加算2施設

- ・市立湖西病院

その他の施設

- ・佐久間病院*

加算3施設

- ・引佐赤十字病院
- ・十全記念病院
- ・神経科浜松病院*
- ・すずかけセントラル病院
- ・天竜すずかけ病院
- ・天竜病院
- ・浜松北病院
- ・浜松市リハビリテーション病院
- ・浜松南病院
- ・浜名病院
- ・北斗わかば病院
- ・松田病院
- ・丸山病院
- ・三方原病院

* データ入力なし、または使用なしのためグラフには表示されておられません。

データ集計の方法

- DOTs/100 patients-daysを指標とした比較を行う

DOTs(Days Of Therapies)

用法用量に関わらず、患者に投与された日数。

$$\text{DOTs/100 patients-days} = \frac{\text{抗菌薬使用日数の総計(days)}}{\text{在院患者延べ数 (bed-days)}} \times 100$$

DOTs/100 patients-days

…入院患者100人・日あたりの抗菌薬使用日数

データ集計の方法

- 加算1,2施設と加算3施設でグループ分け
 - 加算1,2施設グループ(8施設)
 - 広域スペクトル抗菌薬
 - 抗MRSA薬
 - 加算3施設グループ(14施設)
 - ペニシリン系抗菌薬
 - セフェム系抗菌薬
- 各グループ内で上記対象薬剤の使用量推移と使用量の内訳を比較

加算1,2施設 広域スペクトラム抗菌薬のDOT推移比較 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の推移 (折れ線)

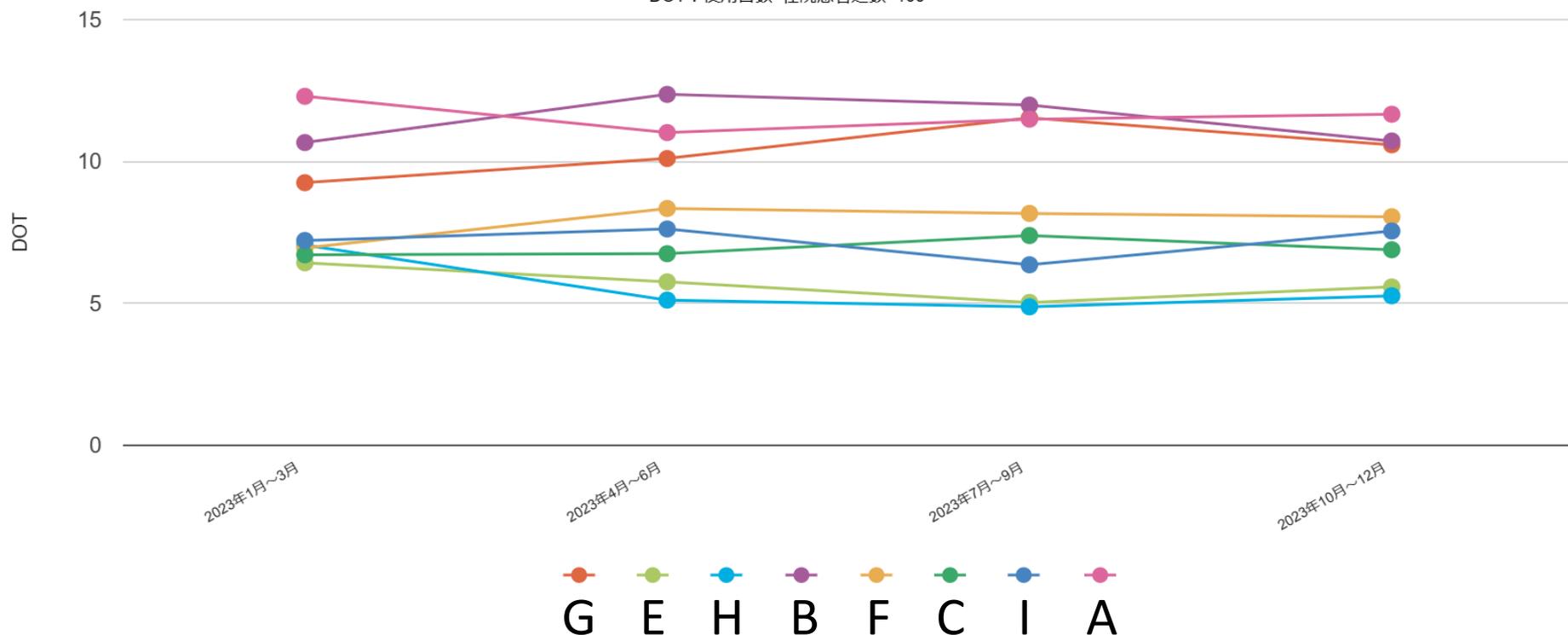
【期間：2023年01月～2023年12月】

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：抗緑膿菌薬・薬剤系統/抗菌薬 (17)】

DOT：使用日数+在院患者延数×100



各施設で若干の差はあるが使用量は概ね変わらない

加算1,2施設 広域スペクトラム抗菌薬のDOT比較内訳 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の施設間比較 (棒グラフ)

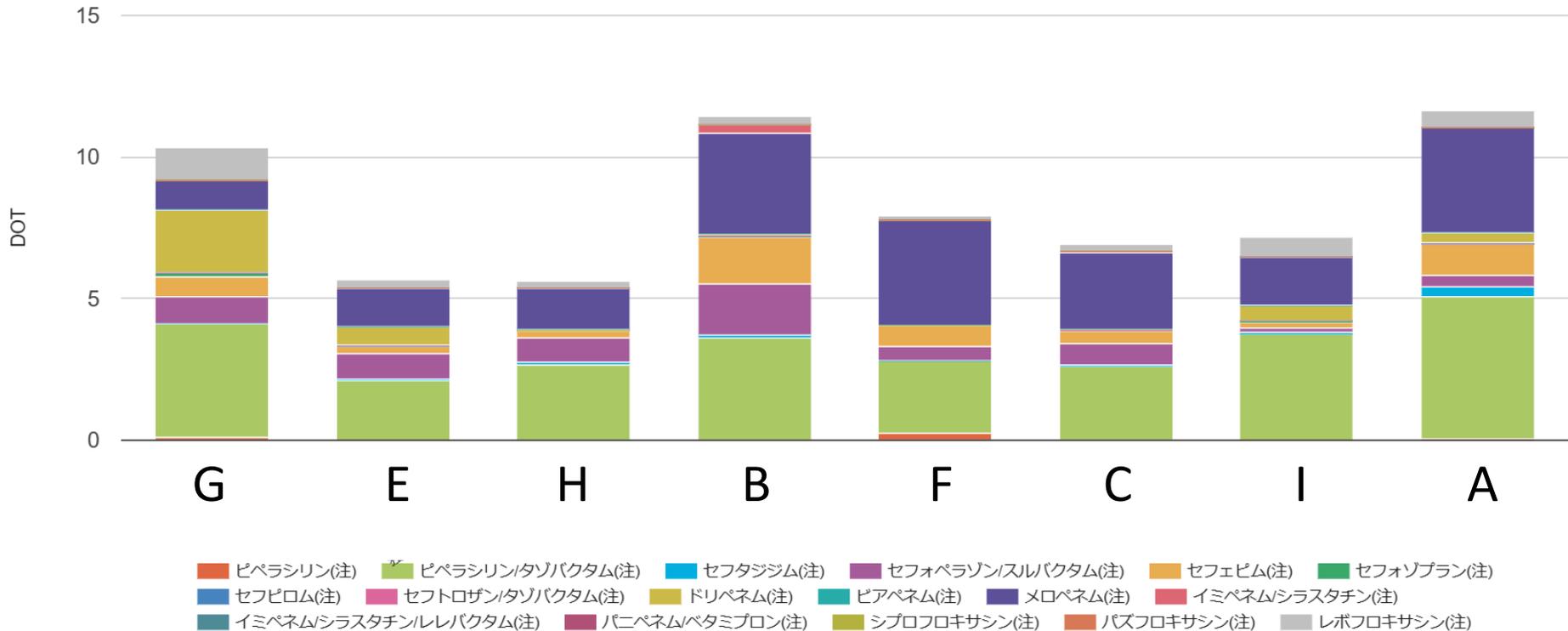
【期間：2023年01月～2023年12月】

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：抗緑膿菌薬・薬剤系統/抗菌薬 (17)】

DOT：抗菌薬使用日数÷在院患者延数×100



カルバペネム系の使用割合は施設間で差を認める

加算1,2施設 抗MRSA抗菌薬のDOT推移比較 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の推移 (折れ線)

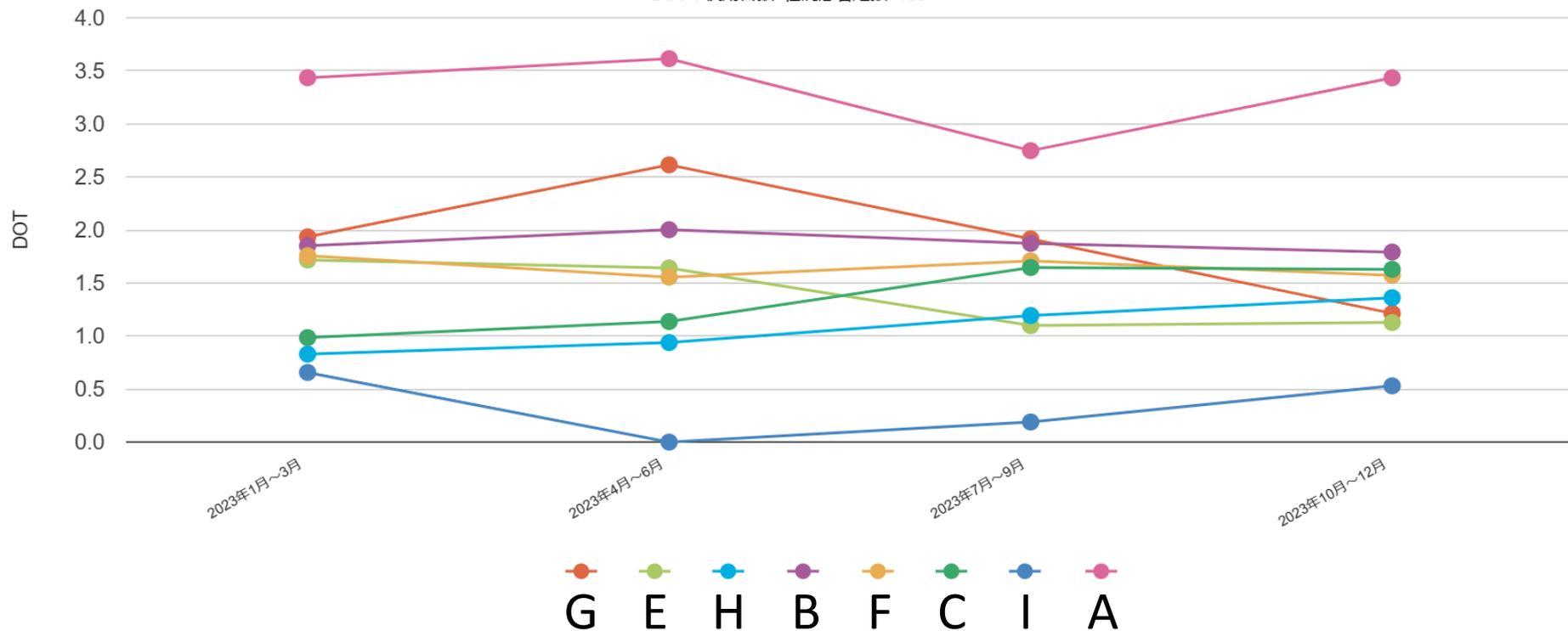
【期間：2023年01月～2023年12月

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：抗MRSA薬・薬剤系統/抗菌薬 (6)】

DOT：使用日数+在院患者延数×100



一部の施設で使用量の変動を認める

加算1,2施設 抗MRSA抗菌薬のDOT比較内訳 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の施設間比較 (棒グラフ)

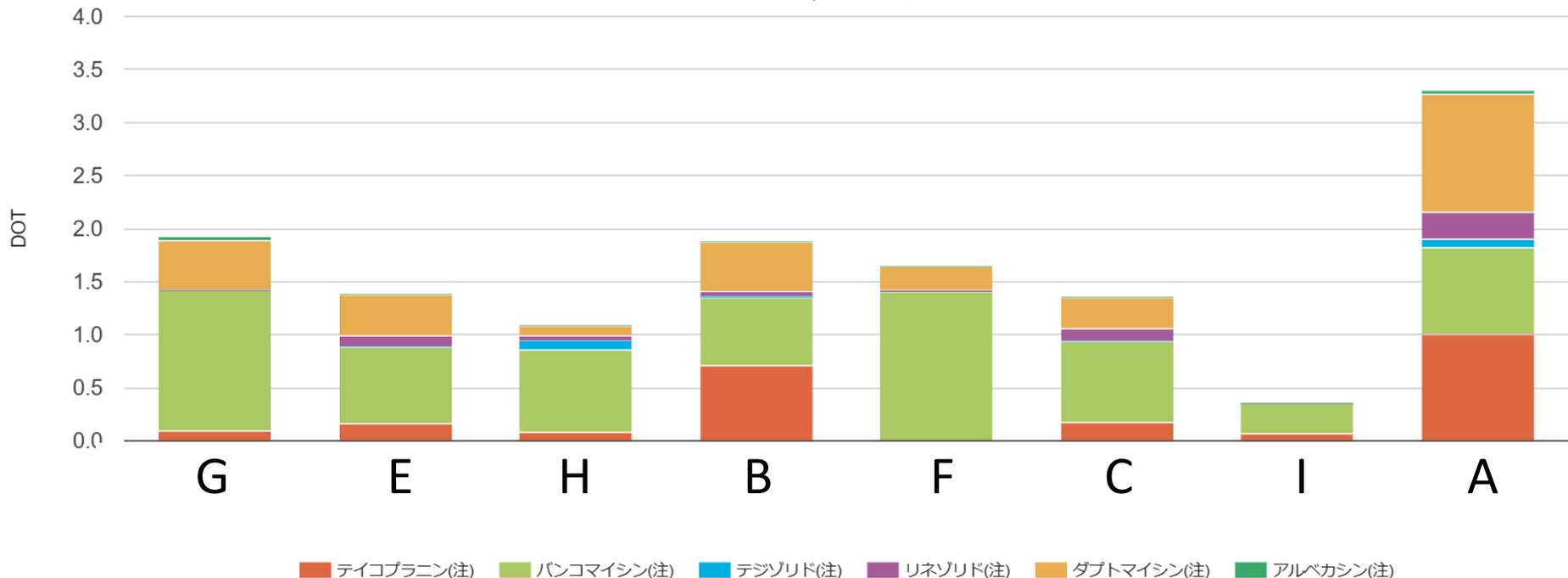
【期間：2023年01月～2023年12月

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：抗MRSA薬・薬剤系統/抗菌薬 (6)】

DOT：抗菌薬使用日数÷在院患者延数×100



テイコプラニン、バンコマイシン、ダプトマイシンが主に使われているが、使用割合は施設間で異なる

加算3施設 ペニシリン系抗菌薬のDOT推移比較 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の推移 (折れ線)

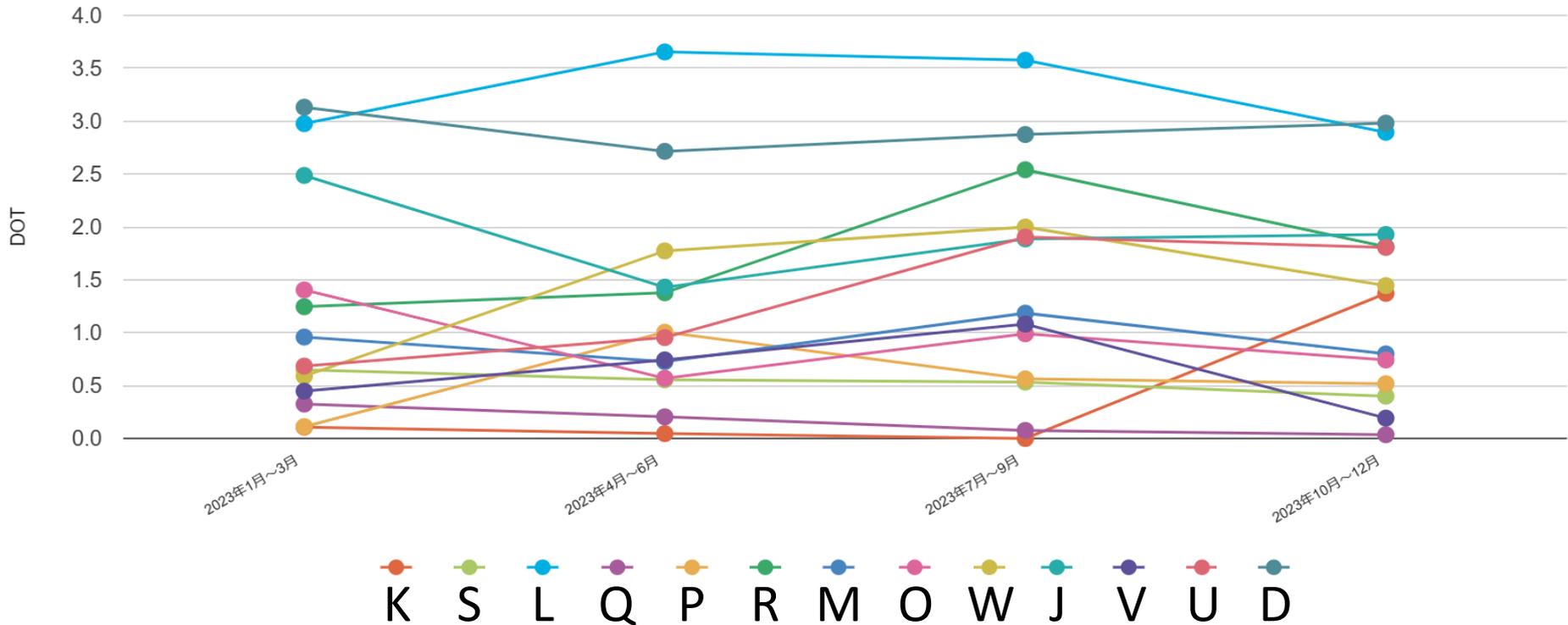
【期間：2023年01月～2023年12月】

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：ペニシリン系・薬剤系統/抗菌薬 (7)】

DOT：使用日数+在院患者延数×100



施設間で使用量の差が大きい

加算3施設 ペニシリン系抗菌薬のDOT比較内訳 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の施設間比較 (棒グラフ)

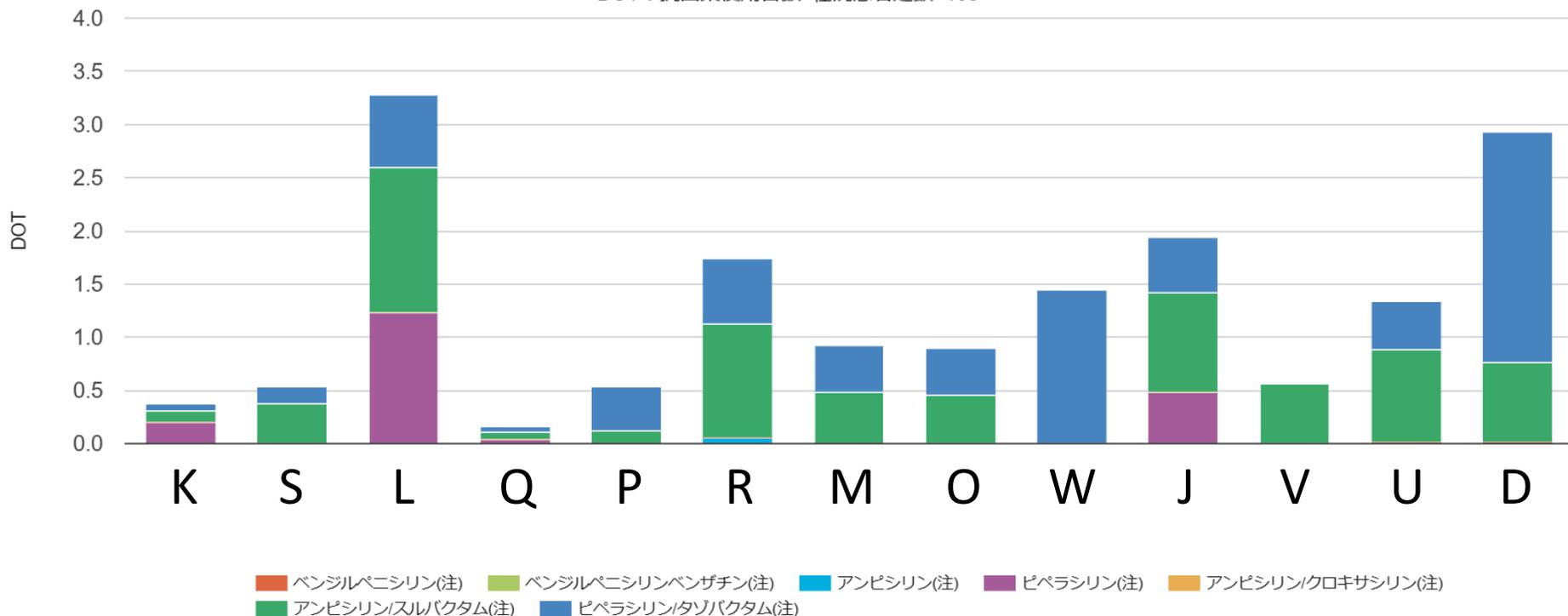
【期間：2023年01月～2023年12月】

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：ペニシリン系・薬剤系統/抗菌薬 (7)】

DOT：抗菌薬使用日数÷在院患者延数×100



アンピシリン/スルバクタム、ピペラシリン、ピペラシリン/タゾバクタが主に使われているが、使用割合は施設間で異なる

加算3施設 セフェム系抗菌薬のDOT推移比較 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の推移 (折れ線)

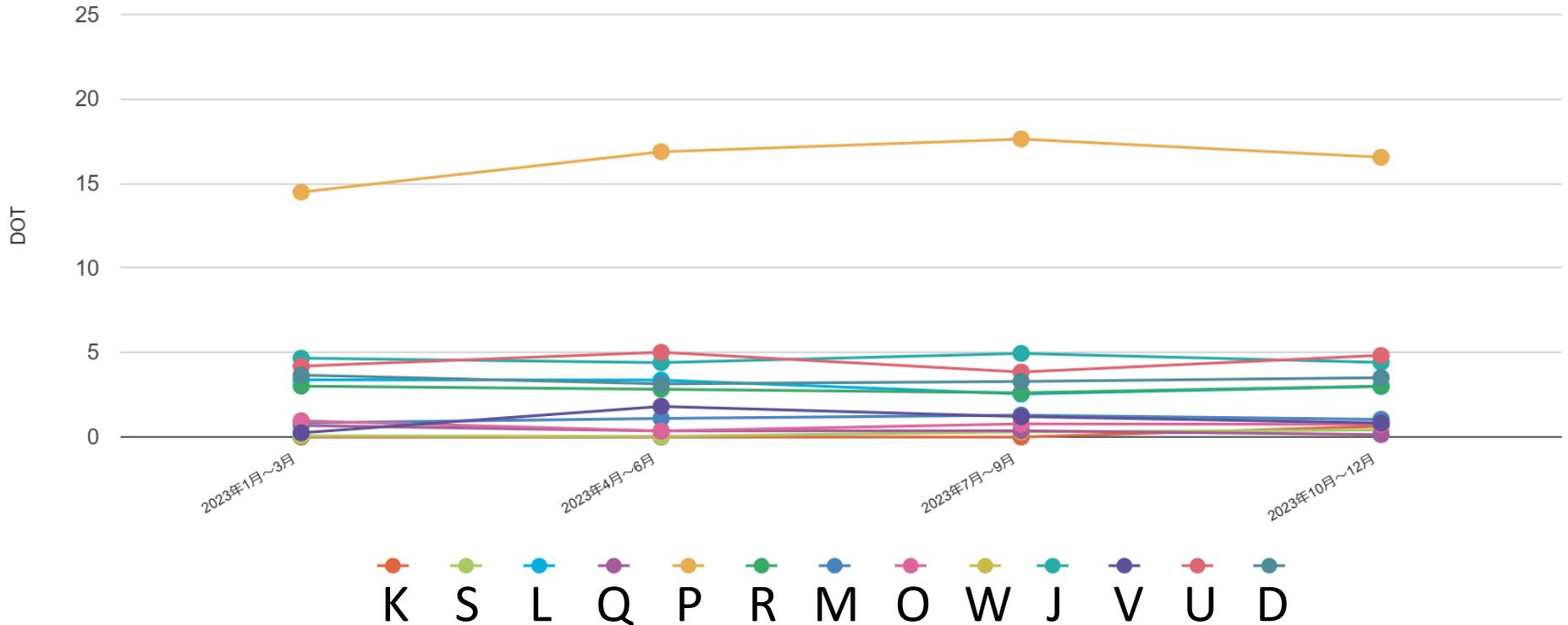
【期間：2023年01月～2023年12月】

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：全系統・薬剤系統/抗菌薬 (5)】

DOT：使用日数+在院患者延数×100



各施設内で使用量の変化はほとんどない

加算3施設 セフェム系抗菌薬のDOT比較内訳 (2023年1月-2023年12月)

抗菌薬使用状況の施設間比較 (棒グラフ)

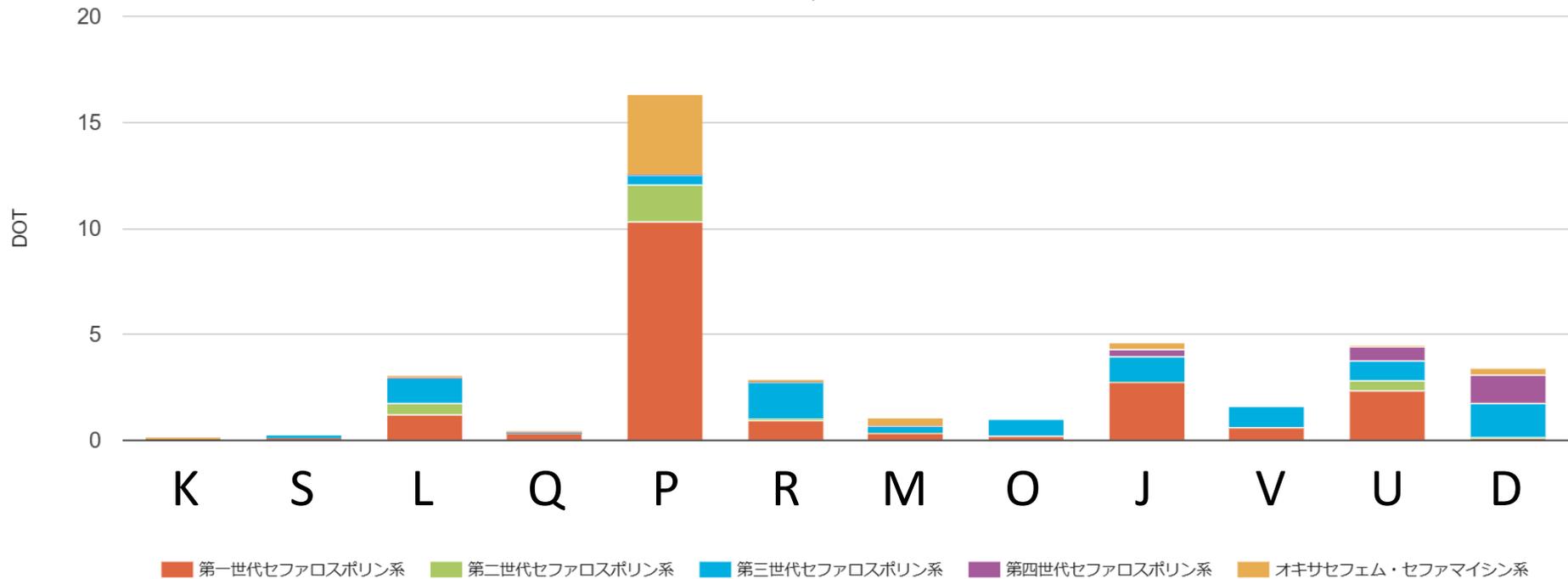
【期間：2023年01月～2023年12月

表示対象：浜松地区 感染症サーベイランス 比較対象：無し

表示単位：DOT 病棟区分：全て

薬剤種別：注射 薬剤グループ：全系統・薬剤系統/抗菌薬 (5)】

DOT：抗菌薬使用日数÷在院患者延数×100



セフェム系抗菌薬の世代別の使用割合は施設間差が大きい

データ入力にご協力いただき
ありがとうございます

今後のデータ集計について

引き続き、各グループ内で対象薬剤の使用量推移
と使用量の内訳の比較を行っていきます。
集計方法についてご要望ありましたら、ご意見
お願いいたします。